



2020年、 令和2年を迎えて

新年明けましておめでとうございます。

患者さま・ご利用者の皆さま、ご家族の皆さま、そして地域の皆さまお揃いで幸多き新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

地域の皆さまには、平素より温かいご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

去年は、1月1日は平成、5月1日は令和と、元号が平成から令和にスピーディーに代わり、新時代の息吹とその到来を実感致しました。令和という元号の由来は、遠く万葉の時代に遡り、万葉集『梅花の歌』“初春の令月にして、気淑く、風和ぎ・・・”から引用され、新時代にふさわしい日本のターニングポイントとなりました。時あたかも26年前、私どもの関連法人であります特別養護老人ホーム白松苑へご来苑いただきました皇太子同妃両殿下が天皇皇后両陛下になられ、日本国の新しい象徴として職務に勤しまれておられるお姿には感慨深いものがあります。

去年は、地球温暖化による異常気象のため全国各地で自然災害が発生し、つらく悲しいニュースも数々ありましたが、幸い当地では大きな被害もなく、安堵しているところです。

当病院は昨年、一昨年更新しました電子カルテの習熟に全職員がエネルギーを費やしましたが、その一方で、内閣府政府広報に当病院の「働き方改革」が取り上げられ、また、山口県より「やまぐち健康経営企業」に認定されるなど、前向きに活動してまいりました。

医療という分野では、コミュニケーションからスタートし、フェースツーフェース、ハートツーハートと人間関係を深めていくことが理想像です。その理想に向かって、医療人である私どもは、いつも最新の情報を咀嚼し、活動を展開しなければなりません。そのために、「新しい時代にふさわしい医療とは？」と、絶えず自問自答し、模索しているところです。本年は新しい医療に向けて、職員も研鑽を積み、前に進んでいきたいと思えます。その過程で、私を含め全員が、昨年開催されましたラグビーワールドカップ2019日本大会で「ワンチーム」の旗のもと大活躍しました日本チームのように、一致団結し、努力していく所存です。何卒ご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げまして、新年のご挨拶と致します。

医療法人協愛会 阿知須共立病院
理事長・病院長 三好 正規



医療法人協愛会理念

1. “地域の安心支援拠点” 安心と信頼を提供します
2. “皆さまの健康長寿” その人らしい生活を支えます
3. “四者満足” 希望と満足を実感できる法人でありつづけます

基本方針

1. “思い” を大切にした医療・予防・ケアに取り組みます
2. 安全・納得の技術を提供します
3. 切れ目のない地域連携で皆さまを支えます
4. 24時間、365日、まごころサービスで皆さまを支えます
5. 安心と信頼を提供できる人材を育成します



当院の様々な機能をご紹介します

阿知須共立病院には、外来診療や入院加療、救急受入、透析、健診と言った代表的な機能だけではなく、様々な機能があります。機能の概要はご存知とは思いますが、詳しい内容までは分からない、と言われる方も多いのではないのでしょうか。そこで、当院の持つ様々な機能を、できるだけ分かりやすく具体的にご紹介いたします。

★今回は当院の『手術機能』のご紹介です★

当院では主に外科や整形外科の手術を行っていますが、具体的にどのような手術をどのくらい行っているのか？ 手術を担当する医師やスタッフは？ などについてご紹介いたします。

■手術担当医師&スタッフのご紹介

外科医師名

工藤 明敏【診療部長・外科部長】

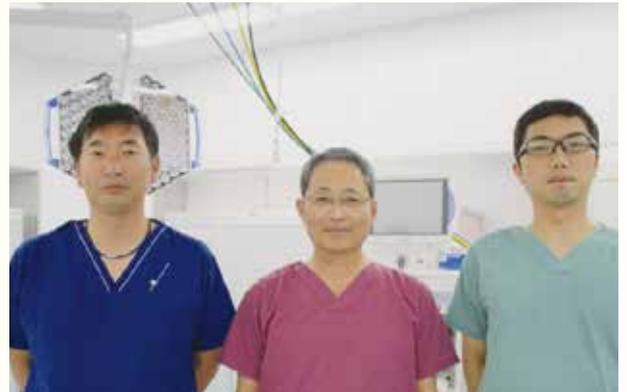
原田 俊夫【外科部長】

古谷 圭【山口大学医師】

整形外科医師名

三好 智之【整形外科部長】

徳重 厚典【山口大学医師】



■外科施設認定

日本がん治療認定医機構認定研修施設	山口大学附属病院消化器・腫瘍外科関連施設
日本外科学会外科専門医制度関連施設	日本乳癌学会認定関連施設



■手術の実績（2014年～2018年度）

【外科手術5年間実績】 721件 主な手術実績は次の通りです。

皮膚皮下腫瘍	133件	乳腺	82件	呼吸器	15件
食道・胃	47件	小腸・大腸・肛門	153件	肝臓・胆嚢・膵臓	91件
ヘルニア	74件	末梢血管(CVポート含)	84件	その他	42件

【整形外科手術5年間実績】 819件 主な手術実績は次の通りです。

骨折観血的手術など四肢骨関係	390件	関節内骨折観血的手術など四肢関節・靭帯関係	166件
腱鞘切開術など筋膜・筋・腱・腱鞘関係	133件	皮膚・皮下腫瘍摘出術など皮膚・皮下組織関係	51件
その他（手・足、四肢切断・離断・再接合、脊髄・末梢神経・交感神経等）			79件

■手術担当医師からのメッセージ

整形外科：三好智之整形外科部長

★当院整形外科では、年間150～170件の手術を行っております。大腿骨頸部骨折、橈骨遠位端骨折に代表される四肢骨折や、アキレス腱断裂などの外傷疾患、ばね指、手根管症候群などの手の外科疾患を主に手術しております。

麻酔科専門医師による麻酔、医療機器も充実しており、安心して手術を受けていただける環境にあります。また山口大学から関節外科専門医師、手の外科専門医師も一緒に手術を行っており、比較的幅広く手術対応可能な施設です。

手術についても、外来にてお気軽にご相談ください。



外科：工藤明敏診療部長・外科部長

★外科医の仕事について

がんの治療には、①薬物治療、②手術、③放射線照射があります。その中で外科医は、①薬物治療及び②手術を主に担当しています。

薬物療法は日進月歩で進化しており、どのような順序で、どの薬・手術を選択して治療するか、精通することが求められます。最近では切除したがん組織の遺伝子変異を測定し、個別治療（がんの性質により治療方法を変える）を行っています。

化学療法中の患者さんから相談を受けやすいように、電話相談「抗がん剤ホットライン」（TEL：0836-65-2200）を設け、看護師・薬剤師または担当医師が対応しています。



「乳腺専門外来」の開設について

2020年1月から、毎週月曜日 14:00～16:00 「乳腺専門外来」を行います。
担当医師は、工藤医師（工藤医師不在時は原田医師）が対応します。

寒い冬に負けない★おすすめ料理

今年も寒い冬がやってきましたね。本格的な冬を迎え、風邪を引きやすい時期でもあります。のどが痛い・風邪気味・胃腸が疲れているという方もいらっしゃるのではないのでしょうか？ 寒くて体調を崩しやすい季節ですが、旬の野菜をたくさんたべて元気に過ごしましょう♪



寒い日や温まりたいときに

大根とかにのとろとろスープ



材料（2人分）

大根	100g
カニ缶	20g
だし汁	300ml
コンソメ	ひとつまみ
塩	少々
しょうゆ	小さじ1
みりん	大さじ1/2
片栗粉	小さじ2
小ネギ	適量

A

作り方

- ① 大根はせん切りにする。
- ② 鍋に大根、カニ、だし汁、Aの調味料を入れ大根が軟らかくなるまで弱火で煮る。
- ③ ②の味を調べ、水溶性片栗粉でとろみをつける。
- ④ ③を器に盛り、上に小ネギを散らせば完成。

大根はビタミンCやカリウムが豊富☆
スープは加熱しても栄養がまるごととれるのでおすすめです。
寒い日は、体も心もよろこぶスープであたたまりましょう♪



風邪のひきはじめ・喉が痛いときに

おろし和え



材料（2人分）

大根	100g
鮭（切り身・骨なし）	20g
きゅうり	20g
砂糖	大さじ1
塩	少々
酢	大さじ1

A

作り方

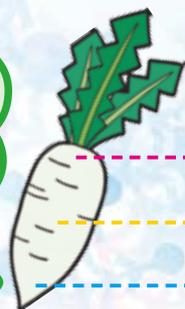
- ① きゅうりは薄く輪切りにして塩（分量外）をふり、しばらく置いておく。
- ② 鮭に少量の塩（分量外）をふって焼く。
- ③ 大根は皮をむいて、大根おろし器でおろす。
- ④ ボウルに水気を切ったきゅうり、粗くほぐした鮭を入れる。
- ⑤ ④にAを入れて混ぜ合わせる。

大根に含まれるイソチオシアネートは、のどの炎症と咳を抑える効果があります。殺菌効果もあるため、風邪のひきはじめにおすすめです。
消化酵素も多く含まれるため、胃腸の働きも助けてくれます☆



大根をおいしく食べるコツ

ひげ根が少なくハリとツヤがありずっしりと重いものを選びましょう



部位により食感や味が違います。料理ごとにうまく使い分けて美味しくいただきましょう♪

上部：水分が多く甘い。おろし大根・サラダなどにおすすめ。

中部：甘みと辛みのバランスがちょうど良く柔らかい。煮物におすすめ。

下部：水分が少なく辛い。漬物や薬味におすすめ。

2019年度 世界糖尿病デーイベントのご報告

「全国糖尿病週間」11月11日～11月17日、「サルコペニア」をテーマとして当院1階外来待合室でパネル展示を行いました。展示の内容は「サルコペニアとは?」「糖尿病食、筋肉量をふやす食事」「糖尿病クイズ」など。たくさんのクイズを1枚1枚めくって答えを確認する光景も数多くみられました。



展示パネル



11月28日（木）には、世界糖尿病デーのイベントとして、山口きらら博記念公園多目的ドーム内で「グランドゴルフ大会inきららドーム」を開催。今回で3回目となったグランドゴルフ大会には17名のご参加を頂きました。

「貯筋」についての話に続き、食品1単位（80キロカロリー）分のお菓子を数あるお菓子の中からチョイス。ピタリ80キロカロリー！！の方、300キロカロリー以上の方とそれぞれ。「少ないね。ちょっと休憩したら倍以上食べよーる。」「カロリーとか見ることない。」との声もありました。

準備運動を行った後、いざドームの芝へ。4チームに分かれてきららドームの広くきれいな芝の上、アットホームな雰囲気での競技となりました。ホールインワンも飛び出し、所々で大歓声が上がったり、イベントスタッフの連打連打に失笑もあり。参加者の方々とスタッフとの会話も弾みあつという間の3時間でした。



きららドーム

当院では、毎年、世界糖尿病デーイベントを開催しています。サポートスタッフがイベントの開催を通して多くの方々と触れ合えることを楽しみに活動を続けております。増え続ける糖尿病の脅威、合併症悪化による影響など、糖尿病についての知識、情報をより多くの方にお伝えし、皆さまの健康寿命が延びるよう貢献できればと思います。是非、私たちの活動に対するご意見、ご要望をお寄せください。

なお、当院では毎週水曜日午後1時半より外来待合室で、さまざまなメニューを取り揃え、「糖尿病教室」（無料）も開催していますので参加されてみてはいかがでしょうか。

糖尿病サポートチーム
代表 三輪陽子

祝 BHI 全国病院広報研究大会入賞

今回で23回目となるBHI（ヘルスケア情報誌コンクール）全国病院広報研究大会にて当院の広報活動の取り組みが評価され初入賞いたしました。大会総テーマは「協働・連携」で、当院は病院理念の1つである【（地域住民の皆さま及び職員の）健康長寿】を「健康啓発活動の強化」により具現化してきた活動について発表いたしました。

発表はユニクロ本社での乳がん講演会（工藤明敏医師）と職員対象の禁煙研修会（藤井郁英医師）の成果について行い、「意識が変わった」という参加者の声が複数の新聞社に報じられたこと、そして、多くの新聞読者の方に情報を提供し、地域住民の健康長寿、病院の健康経営に貢献出来たことが入賞の理由となりました。

他の入賞された病院の広報活動も大変参考になることが多く、今回の入賞を今後を活かし、更に積極的な広報活動を推進し、阿知須地区だけではなく当院と繋がりがある皆さまの健康長寿・生活を支えていければと思っております。

広報活動推進プロジェクトチーム
リーダー 池内 晋也



「患者さんの権利を尊重すること、高齢者の皆さんをお守りすること」の憲章

■患者さんの権利を守ります■

1. 患者さんは、人間として尊重される権利を持っています。
2. 患者さんは、いつでも必要かつ十分な医療を受ける権利を持っています。
3. 患者さんは、プライバシーが尊重される権利を持っています。
4. 患者さんは、自分の選択によって治療を受ける権利と共に治療を拒否する権利を持っています。
5. 患者さんは、医師や医療従事者に十分な説明を受ける権利を持っています。
6. 患者さんは、平等な治療を受ける権利を持っています。

■「高齢者」の皆さんに対して■

◎尊厳を持って自立した生活が送れるよう支援します。◎健康で生きがいをもって、社会参加ができるよう手を差し伸べます。◎利用者の皆さんから、信頼され満足されるサービス提供に努めます。◎処遇の質的改善、権利擁護体制の充実に努めます。◎看護、介護を通して在宅への可能性を支援します。◎リハビリテーションを充実し、介護予防、社会参加の推進に努めます。◎フォアザペイシエントの姿勢を貫きます。

医療安全推進週間の取り組みのご報告

～確認について～

●はじめに

厚生労働省は2001年から、毎年11月25日（いい医療に向かってGO）を含む1週間を「医療安全推進週間」と定め、「患者さんの安全を守るための共同行動」の一環として医療関係者に取り組みの推進を図り、また、この取り組みについて「国民の理解と認識を深める」ことを目的として、各医療機関に「医療安全推進週間」を中心に様々な活動を行うことを推奨しています。

当院も2004年から医療安全啓発ポスターを、そして、2016年からは併せて標語も掲示していますが、2019年度は11月24日（日）から11月30日（土）の1週間、リスクマネージャーを中心に職員からポスターと標語を募り、1階外来部門で掲示しました。また、患者さま、お見舞いの方々にはポスター・標語の優秀作品の選考に多数ご協力をいただきましたこと、本紙面をお借りして心よりお礼を申し上げます。ありがとうございました。

●私たちの取り組み

今回、足を止めてご覧になって頂いた方々や投票して頂いた方々、そして、応募した職員の期待に応え、医療安全管理室として、今後も患者さんに安心・安全を提供できる病院を目指したいと思えます。

今回の医療安全啓発ポスターのテーマは「指差し呼称」、標語のテーマは「確認」としました。安全な医療を行ううえで、患者さまの中には、同姓同名や類似氏名の患者さまがいらっしゃいます。当院では患者さまと共に患者間違いによる事故防止の取り組みを進めております。患者さまにはお名前と生年月日を名乗って頂き、本人であることの確認をさせて頂いております。『患者さまに安心・安全を提供します』という理念に基づき、日々、患者さまに寄り添い、患者さま一人ひとりの状態にあった安全対策に取り組んでおります。

これからも患者さまとご家族の皆さまのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。



【ポスター掲示】



【標語掲示】

～第40回山口県診療放射線技師会親睦球技大会で 当院放射線技術科が優勝～

令和元年11月17日（日）、第40回山口県診療放射線技師会親睦球技大会が柳井市バタフライアリーナにおいて開催され、山口県全域の21チーム、総勢125名の参加でソフトバレーボールが競われました。

当院は山口A（阿知須共立）として、放射線技術科から診療放射線技師3名と居宅介護支援専門員・診療情報管理士各1名、計5名のチームで参加しました。昨年は山口市阿知須体育センターで行われ、当院は診療放射線技師・看護師・事務職等のチームで参加しました。予選はなんとか勝ち上がったのですが、決勝リーグでは1回戦で敗退してしまいました。

その反省もあって1年間、当院ソフトバレー部に所属し、みっちり練習しました。練習の成果が出たのか、今大会は予選から全戦全勝であれよ、あれよと決勝まで進むことができました。決勝戦は2年連続優勝の強豪チームでしたが、毎週の練習で培った粘りとチームワークでフルセットの末、優勝を勝ち取ることができました。

末筆ながら、この場をお借りして、練習にご協力頂きました当院ソフトバレーボール部と阿知須地区、佐山地区のソフトバレーボールチームの皆さまに厚くお礼を申し上げます。ありがとうございました。

